

目次

第1部 生物多様性とくしま戦略策定の背景	
第1章 国際的な動向	1
1. 生物多様性条約	1
2. SDGs（持続可能な開発目標）	1
3. 気候変動枠組条約	2
第2章 国内的な動向	3
1. 生物多様性国家戦略	3
2. 国土形成計画	3
3. 瀬戸内海環境保全特別措置法	5
4. 気候変動対策に関する法律	5
5. SDGsとの連動	5
第3章 徳島県の動向	6
1. 県環境基本条例及び県希少野生生物の保護及び継承に関する条例	6
2. 生物多様性とくしま戦略	6
3. 気候変動対策関連条例	8
4. エシカル消費の推進	8
5. 生物多様性戦略改定への動き	9
第4章 徳島県の将来像	10
1. 川・海・汽水域地域	10
2. まち・里地域	10
3. 奥山・里山地域	10
第2部 生物多様性とは	
第1章 3つの多様性	13
1. 生態系の多様性	13
2. 種の多様性	13
3. 遺伝子の多様性	13
第2章 生物多様性の重要性－生態系からの恵み（生態系サービス）	14
1. 供給サービス	14
2. 調整サービス	14
3. 文化サービス	15
4. 基盤サービス	16
第3章 生物多様性の危機	17
1. 第1の危機（開発など人間活動による危機）	17
2. 第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）	17
3. 第3の危機（人間により持ち込まれたものによる危機）	17
4. 第4の危機（地球温暖化による危機）	17

第3部 徳島県の生物多様性と生態系の成り立ち	
第1章 生きもの・人の生活基盤としての自然環境	18
1. 徳島の自然の成り立ち	18
2. 徳島の生物相	21
3. 歴史に見る徳島の人暮らしと生物	26
第4部 徳島県における生物多様性と生態系の現状と課題	
第1章 日々の暮らしの中での取り組みの現状と課題	30
1. 取り組み主体（県民、事業者、行政）の現状と課題	30
2. 参加・協働の現状と課題	31
3. 生物多様性の維持と利活用に係る知恵の継承をめぐる現状と課題	35
第2章 生物多様性の現状と課題	37
1. 絶滅の危機に瀕する生物	37
2. 分類群別の現状と課題	37
3. 外来種の侵入によるリスク	43
4. 個体数が過剰に増加した生物による被害	45
第3章 徳島県の生態系の現状と課題	47
1. 山（森林）の現状と課題	47
2. 里の現状と課題	48
3. まちと暮らしの現状と課題	49
4. 川の現状と課題	50
5. 汽水域・沿岸域の現状と課題	51
第4章 生物多様性の保全と利活用に係る制度・仕組みに係る現状と課題	52
1. 生物多様性の保全及び持続可能な利用の制度に係る現状と課題	52
2. 取り組み主体（県民、事業者、行政）間の情報共有の仕組みに係る現状と課題	55
第5章 生物多様性と生態系の保全と活用に係る現状と課題—まとめ	57
1. 日々の暮らしの中で取り組むべき課題	57
2. 生物多様性の損失や生態系の劣化を止める上での課題	58
3. 良好な生態系を保全し、劣化した生態系を修復し、活用していく上での課題	59
4. 社会の仕組みや制度として整えるべき課題	60
第5部 戦略（方向性及び目標）と達成に向けた行動計画	
第1章 戦略の改定方針	61
1. 国の法律・計画、県の条例・計画との関係性	61
2. SDGsとの関係性	62
第2章 戦略の方向性と目標	64
1. 長期目標	64
2. 4つの方向性と8つの目標	64
第3章 行動計画	67

第4章 重点プロジェクト	76
第5章 県民・事業者・他の行政機関及び教育機関等との協働による推進体制	79
1. それぞれの主体に求められる役割	79
2. 推進体制	79
第6章 進捗管理と戦略・計画の見直し	81
「生物多様性とくしま戦略」の参考評価指標	82
【要約1】方向性、目標、行動計画、課題群の対応表	83
【要約2】「生物多様性とくしま戦略」の行動計画と推進部局との対応表	89
「生物多様性とくしま戦略」の策定・改定の体制	91
生物多様性とくしま戦略用語集	94